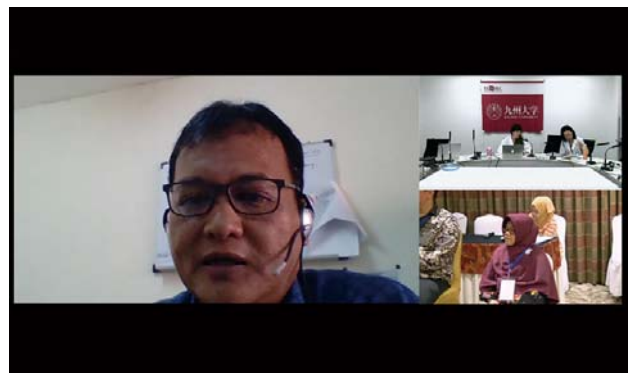


<p>【イベント名】 第2回 インドネシア遠隔医療ワークショップ</p>	<p>【概要】 今回のワークショップは、インドネシア大学医学部内科学科消化器病学分野、チプトマングシクスモ病院、インドネシア消化器内視鏡学会およびTEMDECの主催により開催された。インドネシアの大学や病院から19名の医師と23名の技術者が参加した。最新の内視鏡検査、技術、新しい施設、専門領域の拡大の4つのセッションが行われた。</p>
<p>【期日】 2017.10.05</p>	
<p>【会場】 ホテル ボロブドゥール ジャカルタ (インドネシア), アイルランガ大学 医師自宅; スラバヤ (インドネシア), 九州大学病院 (日本)</p>	



開会の挨拶を行うインドネシア大学のDr. Ari。  
撮影場所：ホテル ボロブドゥール ジャカルタ

座長とパネリストたち。  
撮影場所：ホテル ボロブドゥール ジャカルタ



提示されたスライド。  
撮影場所：九州大学病院

自宅より遠隔発表するアイルランガ大学のDr. Aqsa (左)。  
撮影場所：九州大学病院



九州大学病院から議論に参加するMs. 工藤。  
撮影場所：九州大学病院

参加者らの集合写真。  
撮影場所：ホテル ボロブドゥール ジャカルタ